





## 製造業とは対照的に非製造業の売上高 DI は前月より低下

昨年11月の情報連絡員報告によると、前月に引き続き製造業は回復傾向を見せている一方で、非製造業の足踏状態が目立つ結果となった。非製造業では売上高DI値のみならず、販売価格DI値も低下した。原材料価格の高騰等により商品の仕入価格が値上されているにもかかわらず、売上不振から販売価格を下げざるを得ない実態が報告されている。

【製造業61人、非製造業、89人、計150人の集計】

前年同月比 のDI値	全産業	製造業	非製造業
	前年同月比	前年同月比	前年同月比
売上高	 -27.3	 -3.2	 -44.3
在庫数量	 -6.3	 -6.5	 -18.8
販売価格	 -17.3	 -8.1	 -23.9
取引条件	 -23.9	 -22.6	 -23.9
収益状況	 -46.7	 -35.5	 -54.5
資金繰り	 -33.3	 -25.8	 -38.6
設備操業度	 -12.9	 -12.9	—
雇用人員	 -11.3	 -9.7	 -12.5
業界の景況	 -37.3	 -35.5	 -38.6

※DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100 ≤ DI 値 ≤ 100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合 − 減少・悪化と答えた企業の割合

【例:調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



30以上



10以上  
30未満



−10以上  
10未満



−30以上  
−10未満



−50以上  
−30未満



−51以下

平成23年  
11月

# 業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	製粉業	震災の影響により中断していた小麦の政府との売買契約の見直し作業が再開された。TPP問題と併せて業界の今後を左右する重大な案件となっている。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	5月から10月までのスーパークールビズ期間中の売上は前年の88%であった。
	帽子製造業	景気にはさほど影響されない帽子業界であったが、長引く不況により数社の組合員が廃業した。原因は低価格競争にあると思われる。
	帆布製品製造業	仕入価格が上昇する中で、販売価格を据え置かず値下げを行わないと物が売れないという状況が鮮明となっている。売上高は増加したものの、経費を差し引くと経常利益はマイナスとなっている。
	ニット製品製造業	安価な製品の受注はあるが、高額品についてはまとまった注文がない。
	洋服製造業	受注量は昨年以上に減少し、ほとんどの組合員は仕事がない状態が続いている。
木材・木製品	建具製造業	首都圏の再開発などに伴う大型建築物を中心に動きが出てきているが、受注競争は相変わらず激しい。また、年末を控え仕事量は増えているとの声も多い。住宅エコポイント等の建設促進策も功を奏していると思われる。
	木材製造業	業績が上向きつつある組合員が増えているが、前年同月の水準までには回復していない組合員が大部分である。短納期かつ単価の切り下げを求められることが多い。
	梱包材料製造業	業界の取引先は円高の影響を受けている輸出関連企業が多いため、売上が減少している。
紙・紙加工品	紙製品製造業	原紙並びに副資材の価格上昇を製品価格に転嫁することが難しい状況にある。
印 刷	印刷加工業	売上は昨年実績を維持することが出来た。資材等は廉価品を輸入することで経費の節減を図り、販売価格低下に対応している。
	印刷業	中小・零細印刷業者に対する印刷用紙の販売価格が値上げされている。また、中小と大手印刷会社での用紙購入価格の格差が広がっている。
化学ゴム	石油製品製造業	原油価格の上昇により、収益状況は悪化している。
	ゴム製品製造業	円高の影響で顧客が海外に進出し、受注が無くなった事例がある。また、タイの洪水によって、影響を受けた企業を無理矢理に応援させられる形で販売価格の値引きが行われる事例も発生している。
	プラスチック製品製造業	前月比での売上は若干持ち直したものの、前年同月比では約80%程度の結果となった。12月以降の短期見通しは相当厳しい状況である。
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	コンクリート製品の製造業者である組合員は、公共工事減少の影響をまろに受けている。
鉄鋼・金属	ダイカスト製品製造業	自動車の生産回復により多忙であった。タイの洪水被害の影響が懸念されたが、下請企業にはほとんど影響がなかった。
	缶製造業	海外の景気の減速や円高の影響から厳しい経営環境となっている。
	鋳物製造業	組合員の取扱品目によって受注量に差が出ている。また、原材料価格の高騰に対応した価格転嫁が出来ないため、利益率が下がっている。
	鍍金加工業	複写機等、事務用機器の受注が減少している。又、受注品目は人手がかかる小口物が多く、人件費の増大を招いている一方、大口の発注が少ない。
	建築金物製造業	多少売上に動きが出て来たが、先行きの不透明感が強く、景況の改善を感じることが出来ない。
	金庫製造業	海外製品に押され、国産耐火金庫の生産数は減少傾向にある。
一般機械	木工機械製造業	震災の復興需要が徐々に現れてきている。組合員によっては急激に操業度が上昇している。



その他の製造	スポーツ用品製造業	ジョギング・ランニング関係の市場は安定していたが、東京マラソン効果によりさらに右肩上がりで市場は拡大している。さらに、大阪マラソンが開催されたことで関西圏の市場拡大が期待される。
	遊技機製造業	一部の組合員が製造している機種が売上を伸ばしているものの、多くの組合員は低調である。遊技機のファン層が入れ替わり、新機種に人気移ったことが理由として考えられる。
	造花製造業	組合員が一社脱退した。
	ガス圧接業	稼働率は上がっているものの、受注単価は低迷している。この状況が続けば年末の資金繰りが悪化することが予想される。景気の先行きが不透明であることが、受注単価に影響を与えている。
	工業塗装業	操業度は少しずつ戻ってきているが、原材料価格の値上げが業績に影響している。
	ネームプレート製造業	一部にタイの洪水の影響が見られる。

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	青果卸売業	仕入価格は前年同月比の75%となった。
	美容用品卸売業	徐々に震災の影響が現れ始めている。業績の見通しが厳しいため、2組合員が組合を脱退した。ただし、売上を伸ばしている組合員も見受けられる。
	食肉卸売業	一段と売上状況は悪化している。
	紙卸売業	秋の季節需要は発生しなかった。大手紙卸業者の倒産があった。
	玩具卸売業	不安を抱えながらの年末商戦への突入となったが、予想外に商戦は活況を呈している。クリスマス商戦の結果を見るまでは楽観出来ないものの、現段階では前年の売上高を上回るものと考えられる。
	木材卸売業	国産材は原木価格が上昇する一方、販売価格は低下している。外材は需要の低迷から弱含みの状態である。
	電線卸売業	各分野の電線出荷量には変化がなく、横這い状況にある。今年の電線の販売実績は33万トンで、過去35年間の内2番目に低い結果となった。
	再生資源卸売業	景況が安定化する要素に乏しいものの、今月は組合員の動向に変化はない。
	食器卸売業	飲食店関係の食器購入金額が激減している。年末需要も期待は出来ない。
	銅製品卸売業	需要が減少していることから荷動きが悪い。
小 売	木材小売業	11月はセールを実施し、前年並みの売上を確保することが出来た。
	鶏肉・鶏卵小売業	一般の小売店向けの売上は、消費者の内食指向が強いため好調であった。一方、外食産業の状況が厳しく、業務用の売上は落ちこんでいる。仕入価格は昨年と比べて下がっているため、収益状況は改善しつつある。今年のクリスマスは休日であるため、小売店向けは期待出来るものの、業務用は厳しくなることが予想される。
	眼鏡小売業	タイの洪水の影響により大手メーカーのレンズ供給に遅れが生じたため、顧客への説明に追われることとなった。組合青年部が韓国ソウルにてソウル眼鏡士会と会合を開催し、現地メディアに取り上げられた。
	自動二輪車小売業	ヤマハ発動機と東北大学の川島教授等の共同研究によると、自動二輪車を運転することで脳の認知能力が向上する他、ストレスの軽減にも繋がるということが明らかになったという。自動二輪車の運転を是非ともお勧めしたい。
	豆腐小売業	高齢化と大型スーパーの進出で組合員は厳しい経営を余儀なくされ、廃業組合員が増加しており、組合の運営が危機に晒されている。
	鮮魚小売業	売れ行きが悪い。天候や放射能汚染の風評等、様々な要因が考えられるが、判断は出来ない。



小 売	包装材料小売業	一向に需要が回復しない。こうした時期に大手メーカーの1社が段ボール価格の値上げを発表していたが、他のメーカーも追従する結果となった。テープ類等の値上げも予想されるが、価格の転嫁が困難になることが予想される。
	電器製品小売業	組合員の高齢化、後継者不足は深刻であり、廃業者の増加が予想される。組合からの脱退も出始めており、新規組合員の加入促進といった組織の増強策が必要となっている。
	眼鏡小売業	時計については、高価格品に動きが出て来た感がある。
	中古自動車小売業	組合の中古自動車オークション事業は昨年に比べ実績は増加した。組合員に目を転じると、販売不振と在庫の増加が目立っており、収益状況は悪化している。
	古書籍小売業	組合の事業実績については前年比で微増となった。しかしながら、組合を取り巻く環境は依然として厳しい。
	衣料小売業	婦人向けアウター物の売上が悪い。売上額は前年実績に届いていない。
	酒小売業	酒類の売上が伸びない。飲食店の状況が厳しく、業務用の売上が減少している。
	化粧品小売業	来店者数が減少し売上也落ちこんでいる。ドラッグストアの廉売が原因であるが、通信販売の影響も大きいと思われる。
	文具小売業	テレビや雑誌で文具品を紹介する特集が多く組まれている。こうした状況を利用して売上の増加に結びつけたい。 市況に大きな変化は見られないが、回復の兆しも無い。
	食品小売業	今月は前半が悪く、後半で持ち直したが、結果的に対前年比でマイナスとなった。販売価格は安値安定で回復の気配はない。一部地域で大手の進出が急速に進んでおり、その影響が出始めている。
	塗料小売業	耐震補強工事の増加に伴い、塗料の需要が増加しつつある。
	青果小売業	冬野菜の白菜等が安値で推移している。鍋物用の野菜が以前のように売れなくなった。
商店街	武蔵小山	来街者数に変化はないが、売上は減少している。
	銀座	一部には売上が増加している組合員もいるが、全体として前年の数字に届いていない模様である。
	秋葉原	タイの洪水の影響により、家電やデジタルカメラの入荷が滞っている。また、8月以降売上が伸びず、苦戦が続いている。
	目黒	小売・サービス業に関しては改善傾向にある。正月に向けてさらなる回復を期待している。
サービス	飲食業	まもなく忘年会のシーズンを迎えるが、予約件数は以前と比べ減少している。また、単価も抑えられており、利益が出ない。
	複写業	11月後半になってようやく動きが出始めてきた。年末需要であるカレンダーやはがき印刷等の季節需要が発生している他、官公庁の建設関連のキャド入出力も増えてきてはいる。しかしながら、全体的に厳しい状況には変わらない。
	公衆浴場業	客数の減少が続き、厳しい経営状況が続いている。
	自動車整備業	組合では、複雑化する自動車整備に対応するため、外部故障診断装置の活用を推進するとともに、顧客に対してはタブレット型パソコンできめ細やかな対応を行うことを推奨している。
	クリーニング業	クリーニング需要が半減して久しく、季節需要のピークが年々低くなっている。夏物衣料の多くは家庭洗濯が可能となりクリーニング需要は激減している。
運 輸	貨物自動車運送業	売上高は5%ほど上昇しているが、運賃設定は厳しいままである。組合員のうち6割程度は価格交渉すら出来ない状況にある。現在の価格は本来組合員が希望する価格の8割程度であると考えられる。特に車両台数10台未満の零細事業者では慢性的な赤字状態が続いている。
	港湾運送業	東京港の外国貿易コンテナの取扱量は19ヶ月連続で増加している。コンテナターミナルのゲート前が慢性的に混雑していることから、ゲートの開門時間を1時間早くする試みを試行する。
建 設	板金工事業	年末の駆け込み工事が多いため、忙しい状況にある。

## ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
繊維・同製品	帽子製造業	「中小企業憲章」によれば、国が総力を挙げて中小企業を支えるとなっているが、その取り組みは不十分と言わざるを得ない。
鉄鋼・金属	缶製造業	業界をPRするためには展示会の開催や出展が欠かせない。これに対する助成制度の充実強化をお願いしたい。
	建築金物製造業	住宅エコポイント制度の拡充を望む。また増税には反対する。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	景気対策の早期実施を望む。
木材・木製品	木材製造業	増税の前に予算の無駄の解消や議員数の削減が必要なのではないか。
小 売	眼鏡小売業	眼鏡技術者の国家資格化を求める。海外先進国やアジアの多くの国において眼鏡技術者の国家資格が法制化されている。
	自動二輪小売業	首都高速道路公団より ETC 車載器を購入時に 5,000 円を助成するキャンペーンが開始された。大歓迎であるが、自動二輪車用の ETC 車載器は四輪車のものと比べると高額なうえ、市場在庫も少ない。生産台数を増やすため、何らかの方策を実施していただきたい。
	豆腐小売業	景気対策とともに貧富の格差を是正する措置をお願いしたい。
	鶏肉・鶏卵小売業	消費税増税は反対である。
サービス	自動車整備業	軽油引取税の暫定税率廃止を始め、二重課税など不合理な税体系を是正していただきたい。